

生体認証国際標準化セミナー2026 参加者募集

平素より生体認証にご関心、ご協力いただき、ありがとうございます。

BtoBtoC 市場への生体認証の利活用が世界中で検討され、非接触・非対面の生体認証サービスが身近になり、それとともに情報セキュリティやプライバシーなど社会受容性や相互運用性の課題が指摘され、国際規格の重要性に注目が集まっています。

本セミナーでは、日本を代表して国際標準化を推進いただいているトップレベルの専門家の方々から、生体認証を取り巻く課題や標準化の動向をわかりやすくご紹介いただきます。本セミナーが皆様の事業に資すれば幸いです。

－ 記 －**1. 開催概要**

- (1)日時:2026 年 10 月 19 日(月)～10 月 28 日(水) 期間配信型ウェビナー形式 Zoom 会議システム
- (2)募集:300 名程度
- (3)参加・視聴:無料(但し、参加・視聴には事前登録が必要。10 月 16 日(金)に、登録者に視聴案内メールを送付。)
- (4)各講演単位に期間中何度でも視聴できます。
- (5)ご質問は講演の毎にフォームよりご記載いただき、後日事務局より参加者に回答します。

2. プログラム(別紙:講演内容、講師紹介)

※SC:サブコミッティ、TC:テクニカルコミッティ、WG:ワーキンググループ

講演1:生体認証(SC37)の国際標準化総括 ー全体的な活動の動きと主要トピックスの概要のご紹介	坂本 静生氏
講演2:(SC37)基礎 WGトピックス ～WG5:性能試験～	大木 哲史氏
講演3:(SC37)基礎 WGトピックス ～WG3:データフォーマット～ ー生体認証関連の基礎 WG 最近トピックスを中心にご紹介	林谷 昌洋氏
講演4:(SC37)応用 WGトピックス ～WG2:テクニカルインターフェース、WG4:導入・運用、WG6:社会課題～ ー生体認証関連の応用 WG 最近トピックスを中心にご紹介	菊地 健史氏
講演5:国際標準化活動 「画像合成手法を用いた生体認証性能評価方法に関する国際標準化」 ー画像合成手法を用いた新しい性能評価の方法の標準化新規提案状況のご紹介	名田 元氏
講演6:金融サービス(TC68)の生体認証関連トピックス ー金融サービス(TC68)の標準化最新動向と生体認証の利活用事例のご紹介	光野聡一郎氏
講演7:カードおよび個人識別用セキュリティデバイス(SC17)概要と、渡航用文書トピックス ー(SC17)の概要と渡航文書の開発動向のご紹介	坂本 静生氏
講演8:(SC17)における ISO/IEC 23220 モバイルデバイスを介した ID 管理基盤 ーモバイルデバイスを通じた ID 情報管理のためのビルディングブロックのご紹介	谷内田益義氏
講演9:情報セキュリティ(SC27)の生体認証関連トピックス ー生体認証機器のセキュリティ評価を中心にご紹介	甲斐 成樹氏

†1 諸般の事情により、タイトル、講師が変更になる場合があります。あらかじめご承知おきください。

3. セミナー参加申込

JAISA 個人情報保護方針(https://www.jaisa.or.jp/privacy_policy.php)をご確認の上、下記 URL の申込フォームに必要事項を記入し、お申し込みください。

<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=oeka-lhqirb-30f957ec6e455f20992de28d54069e33>

以上

(別紙)

生体認証国際標準化セミナー 講演内容・講師紹介

講演 1：生体認証(SC37)の国際標準化総括

ISO/IEC JTC 1/SC 37 (バイオメトリクス)における国際標準化について、その組織構成や参加国、他の国際標準化組織との関係など、包括的に理解するための情報をご紹介します。

坂本 静生氏 …日本電気株式会社／静岡大学
日本電気 官公ソリューション統括部主席サイエンティスト
SC17/WG4-11 主査・SC37/WG3 幹事・同主査を経て、現在 SC37 委員長。2017 年工業標準化事業表彰（経済産業大臣表彰）受賞。博士（工学）。静岡大学大学院 総合科学技術研究科 情報学専攻特任教授。

講演 2：(SC37) 基礎 WG トピックス～WG5:性能試験～

生体認証に関する国際規格の開発を行う SC37 において、WG5：性能試験に関するこの 1～2 年の動向について解説いただきます。

大木 哲史氏 …静岡大学
静岡大学 情報学部准教授 SC37 専門委員会専門委員
直近では生体認証分野のトップ国際会議 IJCB2026 での発表や、国際コンペティション UERC2026 耳認証において 2 部門で第 1 位を獲得。生体認証研究に精力的に活動中。

講演 3：(SC37) 基礎 WG トピックス～データフォーマット～

生体認証に国際規格の開発を行う SC37 において、WG3：データフォーマットに関するこの 1、2 年の動向について解説いただきます。

林谷 昌洋氏 …日本電気株式会社
2020 年よりバイオメトリクス関係の研究開発に従事。
2025 年よりバイオメトリクス基礎 WG 国内小委員会幹事。
ISO/IEC 20059（情報技術－生体認証システムのモーフニング攻撃に対する耐性を評価する方法論）のコエディタ。また、SC 42 国内専門委員会委員および SC 42/WG 2 国内小委員会幹事。

講演 4：(SC37) 応用 WG トピックス

生体認証に国際規格の開発を行う SC37 の WG2:テクニカルインターフェース、WG4:導入・運用仕様、WG6:管轄地域越えおよび社会的課題に関する最近トピックを中心に標準化状況をご紹介します。

菊地 健史氏 …株式会社日立ソリューションズ
生体認証製品の開発業務に従事。当該製品において BioAPI を活用していた知見を活かし、2013 年 IdM における共通本人認証基盤の開発研究委員会に参加、2015 年より SC37/WG2 の国内主査、2025 年より国内応用 WG 主査として活動。

講演 5：国際標準化活動 「画像合成手法を用いた生体認証性能評価方法に関する国際標準化」

日本が現在新規提案中の ISO/IEC NP 26247『合成生体認証サンプルを用いた性能試験および報告に関する適用性評価方法』について、提案に至るまでの取り組みと、その具体的な内容についてご紹介いただきます。

名田 元氏 …富士通株式会社
2019 年度より SC 37/WG3 および WG5 に参画。SC 37/ WG3 国内幹事、SC 37/基礎 WG 国内主査を歴任。ISO/IEC 26247（バイオメトリクス性能試験のための合成画像の適用性評価方法論）の規格開発においてエディターを担当。

講演 6：金融サービス(TC68)の生体認証関連トピックス

ISO/TC 68 における生体認証に関連する規格開発の状況についてご説明いただきます。その上で、金融サービス分野で進む生体認証の利活用事例についてご紹介いただきます。

光野聡一郎氏 …日本銀行決済機構局
2026 年現在、ISO/TC 68 国内委員会事務局長。
ISO/IEC JTC1 SC37 (Biometrics) 専門委員会にはリエゾンとして参画し、ISO/TC68 における生体認証関連規格の利活用方法等を情報共有。

講演 7：カードおよび個人識別用セキュリティデバイス(SC17) 概要と、渡航用文書トピックス

ISO/IEC JTC 1/SC 17 (カードおよび個人識別用セキュリティデバイス) の概要と、生体情報も用いる渡航文書（パスポートなど）について解説いただきます。

坂本 静生氏 …日本電気株式会社
同上（講演 1 と同じ）。

講演 8：SC17 における ISO/IEC 23220 モバイルデバイスを介した ID 管理基盤

ISO/IEC JTC 1/SC 17 でモバイルデバイスを通じた ID 情報管理のためのビルディングブロックを規定する ISO/IEC 23220 シリーズが開発されています。本報告では、シリーズの概要を説明すると共に現在の開発状況等についてご紹介いただきます。

谷内田 益義 …東京科学大学 総合研究院
東京科学大学特任准教授。2003 年より ISO/IEC JTC 1/SC 17/WG4 の活動に参加。現在 SC 17 国内委員会副委員長。国際では、今回紹介する ISO/IEC 23220 シリーズの Part 6 のエディタを務める。

講演 9：情報セキュリティ(SC27)の生体認証関連トピックス

SC27-SC37 間で設立された JWG7 (Joint ISO/IEC JTC1/SC 27 - ISO/IEC JTC1/SC 37 Working group : Cybersecurity testing and evaluation of biometrics) の下で開発が進められている、生体認証機器のセキュリティ評価規格 ISO/IEC 19989 の概要を中心にをご紹介します。

甲斐 成樹氏 …独立行政法人情報処理推進機構
2026 年現在、ISO/IEC SC27/WG3 および JWG7 の国際副主査を務める他、WG3 では ISO/IEC 25959、JWG7 では ISO/IEC19989 のプロジェクト・エディタとして規格開発に従事。